

Fusobacterium necrophorum subsp. *necrophorum*

による第8胸椎膿瘍に起因する後躯麻痺を呈した

ホルスタイン種子牛の1症例

岩永海空也^{1)†}喜多見はるか¹⁾窪田慧優²⁾畑井 仁³⁾藤原玲奈⁴⁾木村久美子⁵⁾

本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/4/79_e35/_article/-char/ja

1) 福島県中央家畜保健衛生所（〒963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷114-12）

2) 福島県農業共済組合会津家畜診療センター

（〒969-3545 河沼郡湯川村大字桜町字森台77）

3) 岩手大学獣医学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

（〒020-8550 盛岡市上田3-18-8）

4) 岩手大学獣医学部附属動物病院（〒020-8550 盛岡市上田3-18-8）

5) 国研農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

（〒305-0856 つくば市観音台3-1-5）

（2025年7月18日受付・2025年10月27日受理・2026年4月17日公開）

要 約

3カ月齢のホルスタイン種子牛が後躯麻痺，起立困難を呈した．右側背部に波動感のある腫脹部位がみられ，超音波検査及びX線検査で第8胸椎膿瘍と推察された．病理解剖では，当該部位に被包化膿瘍が形成され，第8胸椎棘突起及び椎弓は顕著に融解穿孔し，脊柱管内では変形した椎骨が背側硬膜外から脊髄を圧迫していた．その他に，肝左葉及び舌根部に膿瘍が認められた．細菌検査では，前述の膿瘍全てから*Fusobacterium necrophorum* subsp. *necrophorum*が分離され，抗*F. necrophorum*抗体を用いた免疫組織化学では膿瘍部のグラム陰性桿菌に一致して陽性であった．本症例は，出生後に臍帯から侵入した本菌が肝膿瘍を形成後，血行性に胸椎に移行した可能性が示唆された．

——キーワード： *Fusobacterium necrophorum* subsp. *necrophorum*，後躯麻痺，椎骨膿瘍．

----- 日獣会誌 79, e35～e40 (2026)